

事業者向け

児童発達支援自己評価表

公表：2019年 3月20日

事業所名：児童発達支援センター コアラ園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7	2	・パーティションを開閉する事で、用途に合わせた使い方をしている。	・利用人数に合わせた活動スペース、活動グループ分けなどを行い、より良い療育を行っていきます。
	2	職員の配置数は適切であるか	7	2		
	3	生活空間は、本人に分かり易い構造化された環境になっているか。また、障害の特性に感じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	8	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地良く過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	9	0		
	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	8	1	・P計画、D実行、C評価、A改善については、保育士会（月2回）、コアラ会議（週1回）で行われている。このPDCAサイクルは勉強不足だった。	・週1回のコアラ会議、月2回の保育士会または臨時のスタッフ会議等で確認していきます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか	8	1		

業務改善	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえて、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	5	<ul style="list-style-type: none"> ・今回、初めて実施する。 ・評価はしてもらっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も年1回の評価アンケートを実施し、改善点等をスタッフ間話し合い、結果の公表をホームページにて行っていきます。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	4		<ul style="list-style-type: none"> ・評価アンケートの項目に沿った療育活動が実施出来るように努力していきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・会議や保育士会の中で出来る範囲で。 	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で児童発達支援計画を作成しているか	9	0		
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	9	0		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6	3		<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドラインの周知を各スタッフへ今一度実施し、各支援への意識を確認していきます。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	9	0		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9	0		

適切な支援の提供	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9	0		
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組合せて児童発達支援計画を作成しているか	9	0		
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9	0	・スケジュールやスタッフ数などで出ていない事もある。	・より良い支援活動が出来る様に、確認事項をしっかりと打ち合わせ出来る様にしていきます。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	9	0	・必ずではなく、気付いた点等がある場合のみ個人間で話す程度。	・情報の共有と、統一した療育支援を常に心掛け、報告・連絡・相談を密に行っていきます。
	19	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9	0		
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	9	0		
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9	0		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	9	0		
	23	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	9	0		

関係機関や保護者との連携	24	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8	1		
	25	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	4	・情報共有出来ている場合もあるが、そうでない場合もある。	・他事業所と支援者会議等で情報交換を行い、隣接するゆかり医療療育センターのスタッフよりの助言、情報共有を今後も行います。 ・より良い療育支援を行う為の、各研修会へ積極的に参加していきます。
	26	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	6	3		
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	2	・療育時間1コマ40分の中に、1～2ヶ月に1度くらいの頻度で時間を設定していく必要があると考える。 ・なるべく全員の方と話をするようにしているが、出来ない日もある。	・保護者よりの要望や情報等が受け易い雰囲気と、時間、スペースをつくっていきます。
	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（P'アルト・トレーニング等）の支援を行っているか	4	5	・P'アルトトレーニングは、対象児が限定される事が多いため、通常の療育活動の中に対応力向上のための別のプログラムを入れていく必要があると考える。 ・プログラムとして確立しているかは不安がある。	・ペアレントトレーニングについては、その支援が必要な対象児と、その状況のタイミング等を見ながら、必要時に実施していきます。
	29	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9	0		
	30	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画書の同意を得ているか	8	1	・ガイドラインに基づいているかどうか分からない。	・ガイドラインの周知を、今一度実施していきます。
	31	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9	0	・個別面談、モニタリング、BD健診、すくすく健診を定期的な場として保護者へ明確に周知する必要があるかもしれない。	・定期的な相談支援を、今後も行っていきます。
	保					

護者への説明責任等	32	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	0		
	33	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9	0		
	34	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	9	0		
	35	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9	0		
	36	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	8	1	・法人の年間行事、生花教室展示会などが、それにあたると思う。	・法人行事の盆踊り花火大会、運動会等の開催を今後も引き続き実施していきます。
非常時等の対応	37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	9	0		
	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9	0		
	39	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	9	0		
	40	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8	1		
	41	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8	1		

	42	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9	0		
--	----	-------------------------------------	---	---	--	--

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2019年 3月20日

＜児童発達支援＞

事業所名：児童発達支援センター コアラ園

保護者等数（児童数） 84名

回収数 49名

割合 58%

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	48	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・運動遊びで、子どもの身体が大きくなったり、人数が増えるとぶつかる可能性があるか。 ・教室は広々として、活動し易かったです。 ・人数に対して調度良い距離感だと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全面に充分注意して、活動スペースと活動人数の調整を行っていきます。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	48	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・充実したスタッフ数でありがたいです。 	
	3	生活空間は、本人に分かり易い構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	45	4	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・質問の内容がよく分かりません。 ・建物が広くて廊下が多い、迷路のように感じる。子供もよく場所を間違っていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・迷路のように感じたのは、隣接するゆうかり医療療育センターだと思います。当施設の案内も詳しく行っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地良く過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	47	1	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも清潔で気持ちよく利用できています。 ・いつもきれいに掃除されていました。 ・とても綺麗で安心しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃業者の方とコアラスタッフで、毎日掃除をしています。

適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	41	7	0	1	<ul style="list-style-type: none"> 一度用紙を見せてもらったが、それが支援計画なのか分からない。 苦手分野のみにしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 支援計画書説明、確認時に今一度詳しく説明していきます。 出来ない事探してではなく、出来る事を多く増やしていく事で、出来ない事が楽しく出来る様になります。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	38	10	0	1	<ul style="list-style-type: none"> 言語の療育を増やしてほしい。 計画書をいただき、週1回の限られた時間の中で、良くしていただいています。本児の成長も見えて嬉しく思います。 質問の内容が分からない。 必要でない授業もある気がする。 夢の紀（相談事業所）さんに大変お世話になっています。色々教えてください、また細かい配慮を下さり、いつも有難うございます。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者よりのニーズに配慮しながら、Drよりの指示を基に支援計画書を作成していきます。
適切な支援の提供	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	39	8	1	1	<ul style="list-style-type: none"> 支援評価を記入しなくても、ほぼ信頼しています。子どもの力になっていると思います。 苦手分野の特定が甘い気がする。 	<ul style="list-style-type: none"> まずは好きな事、楽しめる事から初めて、不快ではなく快の状態での療育が出来る事を考えています。その流れを理解していただけるように説明していきます。
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	41	6	0	2	<ul style="list-style-type: none"> 子どもがあきない様、多様性がほしい。 あそび教室は、遊具（道具）が同じで狭い室内なので、だんだん子供もあきていく感じがした。身体の大きい子にはサイズも小さかった。 親も一緒に楽しめ、子どもと遊べるのが良いと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> カリキュラムについては、毎月の保育士会で検討し、よりよい療育になる様に検討しています。 保護者からのご意見を踏まえてながら、固定化しないように努力していきます。 大人が感じる同じような事も、子どもの感覚ではとても楽しく感じている事もあります。

保護者への説明等	9	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	45	2	2	0		
	10	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	43	5	1	0	<ul style="list-style-type: none"> 「児童発達支援の提供すべき支援」が分からない。 	<ul style="list-style-type: none"> 支援計画書を作成の為の聞き取り時に、説明と確認を行い、サインを頂く段階でさらに詳しく確認説明を行います。
	11	保護者に対して家族支援プログラム（パルト・トレーニング等）が行われているか	31	12	5	1	<ul style="list-style-type: none"> よく分かりません。 家で特に何をすれば良いか、もう少し提案したりしてほしかったです。 母子分離の時に、勉強会の様なものが有ると有り難いと思います。 大滝先生（小児科Dr）などの勉強会は、とてもためになり楽しみにしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ペアレントトレーニングが必要な方と、そうでない方があり、必要な方に対しては詳しく説明と、取り組みの方法をお伝えしていきます。
	12	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	37	9	3	0	<ul style="list-style-type: none"> 苦手分野を理解されているか疑問。 時間が決められていてバタバタと急がされる気分になり、先生とゆっくり話を話す時間がない。相談したくてもいつ話をしてもよいかが分からない。 いつも気にかけて頂いて感謝しています。 毎週子どもが出来るようになった事や、困っている事など、聞いて下さるので、相談もし易く、アドバイスをもらえるので助かります。 	<ul style="list-style-type: none"> 相談しやすい場面、場所、雰囲気等を配慮していきます。

保護者への説明等	13	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	34	12	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・面談をした事がない。 ・効果的な教育アドバイスがもっとほしい。 ・子供のケアだけでなく、親の不安やストレスを解消してもらえるようなプログラム、カウンセリング等がほしいと思う。 ・子供の成長過程において、もう少し専門性のある面談を増やしアドバイスが有るとありがたいです。 ・定期的ではないが、必要に応じて助言を頂けていると思います。 ・定期的な大滝先生（小児科Dr）の診察等、心強かったです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年1回の個別面談や、6ヶ月に1回の診察時などに、しっかりと聞き取りが出来る様にしていきます。
	14	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	39	8	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・相談をまだした事がない。 ・小学校の見学時、何をするのか分からず相談したくてもなかなか時間がとれなかった。結局分からないまま小学校の支援学級の事など切がきた感じだった。 ・補装具でお世話になりました。出来上り次第、コアラ園にて使用しますので宜しくお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様自身も子どもの状態をしっかりと把握し、どの方向に進んだ方が楽しく過ごせるかを積極的に模索することも大事だと思います。
保護者への説明等	15	定期的な会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	38	10	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・客観的な意見が聞きたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月「コアラだより」として活動の内容、行事、お知らせ、ご案内などをプリントで配布しています。
	16	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	42	5	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・どんなふうに取り扱っているのかわからない。 ・名前や写真の必要性があるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時及び個別面談時に、詳しく説明していきます。

非常時等の対応	17	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	38	7	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練以外はよく分からない。 ・マニュアルを知らない。 ・感染症による出席停止期間など、表示してあり分かり易かったです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各マニュアル内容を分かり易く記載して表示します。 ・防災、防犯に対する意識をもう少し身近な事として感じてもらう様に促していきます。
	18	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	37	7	3	2		
満足度	19	子どもは通所を楽しみにしているか	46	2	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・やっと好きになって来たのに卒園は寂しいです。 ・「明日はコアラだよ」と言うと「やったー」と喜んでくれたので、こちらも嬉しかったです。 ・いつも笑顔で対応して頂き、楽しく活動出来ました。 ・先生方に会いに行くのを楽しみにしており、「コアラ園やったー」と嬉しそうです。 ・笑顔も増え、楽しそうにしています。 ・楽しみにしているか分からない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コアラ園が大好き、コアラ園に行きたい気持ちを今後も持っていただける様に努力していきます。
	20	事業所の支援に満足しているか	39	9	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・時間いっぱい苦手分野克服に費やしてほしい。 ・卒園後の進路など、もう少し時間を取って教えてほしかったです。（特支学校、特支学級、放課後デイサービス等） ・学校の集まりにも参加して頂き、助かりました。 ・母子ともに大満足しています。不安な部分がたくさんあるので、通える日数が増えると嬉しいです。 ・利用できる日が増えると、なお良いと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・好きな事、出来た事をたくさん経験してもらい、自信につなげたいと思います。 ・就学に向けての情報提供を可能な限り行っていきます。 ・登園児の発達状況によって、週2回登園を検討したいと思います。

(注釈)

- 「本人に分かり易く構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人に分かり易くする事です。
- 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動の事です。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施される事が想定されています。
- 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶ事により、子どもが適切な行動を獲得する事を目標とします。